

福智町地域福祉活動計画

2011年4月

～安心・安全な福祉のまちづくり～

【概要版】



福智町・福智町社会福祉協議会

福智町地域福祉活動計画策定委員会

地域福祉活動計画とは？

この計画は、社会福祉法第 109 条の規定に基づき、地域福祉の推進に取り組むための実践的な計画として、住民や関係機関・団体、行政、社協が協働して作成した計画です。

この計画は、「地域」に着目し、地域における住民（特に要支援者）の生活課題の解決のための方策について**自助・共助・公助**の視点から策定された計画です。福智町でも少子高齢化や核家族化が進み、地域での人々のふれあいや近隣との係わり合いの希薄化が進むとともに、社会的孤立感や様々な生活課題を抱えている地域・世帯・人が増えているのが現状です。また、地域の福祉ニーズも多様化して、地域福祉のありかたも大きく変わろうとしています。

この活動計画は、地域の人たちが毎日の暮らしの中で、生活する地域に愛着をもって近隣や地域の人たちとどのようにすれば、より安心できる暮らしになるかを考えて活動することにより、「人権と福祉のまちづくり」を進めていく指針になるものです。

計画の基本理念

「主（住民主体）人（人権尊重）公（公民協働）がきらめくステージ（福智町）へ」

私たちの福智町は、平成 18 年 3 月に旧 3 町（赤池町、金田町、方城町）が合併し新政「福智町」として歩み始めています。その歩みの先にあるものは、「人権が保障され、お互いが助け合い、安心して暮らせる地域」であることです。そのために、住民をはじめあらゆる機関や団体が連携・協働し、福祉に対する意識を高め、完全参加と平等を基底に、希望に満ちた生活を安心して送ることのできる町を目指します。そしてその機運を高めるための取り組みがこの計画の下で行われ、すべての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として「ともに支えあう町づくり」として捉え、その基本となる考え方として「あなたは一人ではない。あなたを一人にしない。私は一人ではない。私は一人では生きられない。～支えられつつ支える側にも～」をスローガンに掲げます。

計画の期間

この計画の期間は、平成 23 年度～平成 27 年度までの 5 カ年計画です。



計画の基本目標

基本理念を根拠とした中で、福智町で実現すべき4つの基本的な目標を設定し、その基本目標の達成に向けてそれぞれの活動が基本目標に向けて統一した活動となるように取り組んでまいります。

- 1 人権と福祉意識を携えた人づくり
- 2 地域における新たな支え合いのネットワークづくり
- 3 相談・情報提供を総合的に支援する仕組みづくり
- 4 生活ニーズに対応した福祉環境づくり

計画の推進目標

4つの基本目標をさらに住民から寄せられた課題や問題点を基に16の推進目標をたて、その目標に向けて事業を推進してまいります。

- 1 人権と福祉意識を携えた人づくり
 - 1) 地域住民への福祉の啓発
 - 2) 福祉委員設置等による地域福祉リーダーの育成
 - 3) 福祉の携わる職員の意識改革
 - 4) 福祉教育の充実
 - 5) ボランティアの育成
- 2 地域における新たな支え合いのネットワークづくり
 - 6) 小地域での見守りネットワークづくり
 - 7) 緊急時・災害時での支援ネットワークづくり
 - 8) 関係機関・団体のネットワークづくり
 - 9) 地域の交流の場づくり
 - 10) 自治会活動の強化への支援
- 3 相談・情報提供を総合的に支援する仕組みづくり
 - 11) 地域住民への情報提供の充実
 - 12) 総合相談窓口によるワンストップサービスの実施
 - 13) 情報の一元化と共有化の推進
- 4 生活ニーズに対応した福祉環境づくり
 - 14) 保健・福祉サービスの充実
 - 15) 地域福祉環境の整備
 - 16) 防犯対策の充実

重点施策方針

推進目標達成に向けてそれぞれの事業を推進するにあたり、この活動計画では、何を重点施策として行っていくのか。重点施策を精力的に進めていくことにより、そのまわりの事業の成果に大きく影響する活動計画推進の要となる施策とは何かを住民座談会等で培った住民の声から以下の取り組みを重点施策方針とします。

- 1 安心・安全な地域づくりを推進するための小地域ネットワークの構築
- 2 小地域ネットワークを支える福祉委員等の人材育成

みんなで作り、進める「福智町地域福祉活動計画」

地域福祉活動計画は、住民や地域のさまざまな関係団体等の協力なくしては、策定し推進できない計画です。このため計画策定や推進に際しても、住民や関係団体等との協働を重視し、アンケート調査や住民座談会、関係団体等のヒアリング、地区作業部会でのワークショップ、パブリックコメント等の様々な手法を取り入れて、住民や関係者の意見把握や計画への反映、そして今後の推進についてみんなで作り、みんなで取り組む姿勢を重視しました。

アンケート調査

20歳以上の住民 1割に当たる2,053人を対象に調査

住民座談会

町内83区（内64区で実施）における住民と直接対話し地域課題を把握する住民座談会の開催

関係団体等へのヒアリング

町内20の関係団体等へのヒアリングを行い、福祉に対する課題や意見を把握



パブリックコメント

住民にホームページにて広報いたします。

地域作業部会

アンケートや座談会等での課題を地域の住民の代表者とワークショップ方式で検討

みんなで考えた32の事業を紹介します

福智町9地域での作業部会において、住民座談会やアンケート調査からの課題や問題点の整理を行い、それぞれの解決方法を検討し、それを具体的にまとめていったものが以下の実施計画（推進事業）です。平成23年度～平成27年度までの5年間で以下の事業を住民や関係団体と協働して取り組んでまいります。

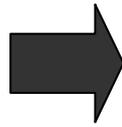
実施計画（推進事業）

- 1 認知症サポーターを養成しよう
- 2 住民福祉講座を開催し参加しよう。
- 3 福祉委員を設置しよう。
- 4 民生児童委員活動を支援し、地域に広めよう。
- 5 福祉入門教室を開催し参加しよう。
- 6 社協職員および福祉関係者の福祉知識と技術、マナーを向上させよう。
- 7 福祉教育推進プログラムを実行しよう。
- 8 ボランティア養成講座を開催し参加しよう。
- 9 ボランティア連絡協議会を支援しよう。
- 10 安心・安全な見守り支援ネットワークを地域につくろう
- 11 緊急通報システムを機能させよう
- 12 地域防災マップ（ハザードマップ）を作成しネットワークにつなげよう
- 13 災害時における災害ボランティアセンターを設置しよう
- 14 関係機関・団体のネットワークをつくろう
- 15 ふれあい交流事業をひろめ参加しよう
- 16 地域の中に交流の場である活動拠点をつくろう
- 17 地域で子どもから高齢者までみんなで交流できる機会をつくろう
- 18 地域の連帯感を深めよう
- 19 声・音による情報提供（防災無線・声掛け・録音等）を充実しよう。
- 20 文字による情報提供（広報誌・社会資源リスト・メール等）を充実しよう。
- 21 総合相談窓口を設置しワンストップサービスを実施しよう。
- 22 相談内容を統計化し、福祉の町づくりの素材にしよう。
- 23 総合相談窓口での情報の一元化を進めよう。
- 24 生きがいを創造できる作業場（農園・陶芸所等）の設置を進めよう。
- 25 町民の足となる福祉バスを充実させよう。
- 26 福祉サービスが有効に活用されるようサービス調整チームをつくろう。
- 27 町内のバリアフリー化とサインが整備された環境をつくろう。
- 28 自立支援センターを設置しよう。
- 29 ファミリー・サポートセンターを設置しよう。
- 30 住みやすいきれいな町づくりを推進しよう。
- 31 地域住民による自主的な防犯組織を支援しよう。
- 32 安心・安全ネットワークと連動し、防犯への住民意識を高めよう。

は重点実施事業

活動計画での取り組みの一例

問題点
認知症の早期発見とその対応
また地域としての見守りなど
認知症への理解と知識が今後ますます必要となっている。



認知症サポーターを養成しよう！
認知症サポーター養成講座を開催し、
オレンジリング普及活動を推進していきます。
サポーターの中からキャラバンメイトを養成していきます。



問題点
リーダーシップを発揮していた
だけの方が地域にいない。住
民自治や地域の交流事業を
進めていくためにもリーダー
的存在の人材育成が必要。



福祉入門教室を開催し参加しよう！
地域での有望な人材の掘り起こしを
図る為に住民を対象とした福祉入門
教室を開催します。



問題点
福智町は5世帯に1世帯が
65歳以上の一人暮らし。社
会的に孤立した状態や孤独
死などが現実としてある。



**安心・安全な見守り支援ネットワークを
地域につくろう**
初年度にモデル地区を設定し、その地域
で住民を中心とした安心・安全ネットワ
ークを取り組むための資料作成及び実態
調査、支援体制を構築しそのモデルを順
次地域に拡大していきます。



問題点
突然の災害でどこに助けを
求め連絡すればいいのかが
分からない。また避難場所や
避難経路が分からない。



地域防災マップを作成！
災害時要援護者避難支援
プランの作成を基に、地域
ごとの防災マップ、DIGの実
施、避難場所や経路の確
認を行い、情報提供の確立
を行います。



問題点

相談事をどこにして良いのかわからない。相談してもいろいろなところに回されてしまうため、相談機能が役割を果たしていない。

総合相談窓口を設置しワンストップサービスを実施しよう！
高齢者、子供、障がい者の枠組みにとらわれず、総合相談窓口を特定の場所に設置します。



問題点

方城から赤池に行くには乗換えが必要。循環線を作って欲しい。等の要望が多くある。また反対にその必要性も伺われる。

町民の足となる福祉バスを充実させよう！
福祉バス検討委員会にて要望・意見をまとめ、対応可能な部分の要望に応じ、住民の移動手段として役割を担えるように充実します。



問題点

子育て支援の機会を得たいが頼めるところがない。子育ての情報が得られない。

ファミリーサポートセンターを設置しよう！
子育てが安心して出来る環境を整えるため、また子育て全般の支援と情報提供を行うとともに、子育て経験者などで育児支援を行う人材を育成します。



問題点

スクールゾーンでの不審者の出没や放火、万引き等犯罪が多発し、安心・安全な生活が出来ない。

地域住民や機関・団体による自主的な防犯組織を支援しよう！
地域住民や関係機関・団体が組織する自主的な防犯への取り組みをボランティア活動として支援します。





福智町地域福祉活動計画

(概要版 初版)

2011年4月

- ◆発行 福智町
- ◆企画・編集 福智町地域福祉活動計画策定委員会
- ◆計画・推進 社会福祉法人 福智町社会福祉協議会

●福智町

〒822-1292

福岡県田川郡福智町金田 937 番地 2

TEL0947-22-0555 FAX0947-22-0782

●社会福祉法人 福智町社会福祉協議会

〒822-1201

福岡県田川郡福智町金田 1154 番地 2

TEL0947-22-6631 FAX0947-22-6678